

## 9 子育て行動

ふだんの子育てをどのように行っているかについて知るため、具体的に17項目の育て方をあげ、それぞれについて、「かなりあてはまる」「どちらともいえない」「ほとんどあてはまらない」の3つから選んでもらう方法をとった。(表12、参考表第2表)

- (ア) 「子どもの欠点ばかりが気になり、しかってばかりいる」に、「かなりあてはまる」は17.8%、「どちらともいえない」は51.6%、「ほとんどあてはまらない」は28.6%である。児童の性別では差がないが、幼児では18.9%が「かなりあてはまる」と答えたのに対し、小学校低学年では、21.4%に増え、中学生では14.6%に減っている。
- (イ) 「子どもをしかる時、体罰を加えている」にあてはまるのは2.4%にすぎないが、男子に対する方がやや多い。また、児童の年齢が上がるに従い、その割合は減少している。
- (ウ) 「家の用事(買い物・掃除など)や家業の手伝いをさせている」については、34.6%があてはまると答えている。女子に対する方がやや多い。
- (エ) 「子どもをしかることはなく、いつも、なだめたり、ほめたりしている」にあてはまると答えたのは、4.2%にすぎない。男女差、年齢差はほとんどない。
- (オ) 「子どもの望むことは、無理をしてもかなえている」にあてはまると答えたのは、6.7%にすぎない。幼児よりも年齢が高い児童の保護者に多い傾向がある。
- (カ) 「生活一般については、まず、親が模範を示している」は、29.2%があてはまると答えている。未就学児童の保護者で、やや高くなっている。
- (キ) 「起床及び就寝時刻などについては子どもの計画や自主性を尊重している」は、24.7%があてはまるとするが、特に年長の児童の保護者に多く見られ、中学生の保護者では40.2%があてはまると答え、あてはまらないとするものは12.9%である。
- (ク) 「小遣いをやる、好きなものを買ってやるなど、交換条件で言いきかせている」にあてはまると答えたのは、全体で5.9%、各年代とも1割未満にしか見られない。
- (ケ) 「その時の気分で、しかったり、しからなかったりしている」は、9.0%があてはまると答えている。性別、年齢別に大きな差はない。
- (コ) 「性の問題については、隠さずよく話し合いをしている」は、14.1%があてはまると答えている。性別では女子の保護者でやや多い。学年では小学校4～6年生で、19.7%と高く、中学生では、18.7%に減少している。
- (サ) 「無断で机の中や日記を見ないなど、子どものプライバシーを尊重している」にあてはまると答えたのは33.4%である。性別では女子が高くなっているが、児童の年齢が上がるに従い、児童のプライバシーに配慮していると答えている。
- (シ) 「子どもの言葉遣い、礼儀は厳しくしつけている」は、54.5%の保護者があてはまるとしている。性別・年齢別に大きな差はない。
- (ス) 「子どもに他人への思いやりの気持ちを持つようにさせている」にあてはまると答えたのは、82.5%であり、中学生の保護者において、78.3%と若干低い傾向にある。
- (セ) 「子どもの将来について計画を立て子どもに無理をさせても目標に達成させようと叱咤激励している」は、4.9%があてはまると答え、55.7%があてはまらないとする。幼児では、あてはまるとするのは少なく、年齢が高くなるに従って若干増えているとはいえ、1割に満たない。男女差も見られない。

(ソ) 「子どもに対するしつけや教育のしかたが、家庭内で一致していない」にあてはまると答えたのは、全体では、7.5%にすぎず、男女差、年齢差はほとんどない。

(タ) 「子どもとの会話の機会を多くしている」にあてはまると答えたのは70.6%である。年齢が高くなるに従いその割合は減少し、中学生の保護者では、66.7%となっている。

(チ) 「他人の子をしかることがある」にあてはまると答えたのは19.6%である。性別では女性が高くなっている。

表12 子育て行動の構成割合

(%)

	総数	かなりあてはまる	どちらともいえない	ほとんどあてはまらない	不詳
(ア) 子どもの欠点ばかり気になり、しかつてばかりいる	100.0	17.8	51.6	28.6	2.0
(イ) 子どもをしかる時、体罰を加えている	100.0	2.4	27.4	68.8	1.5
(ロ) 家の用事（買い物・掃除など）や家業の手伝いをさせている	100.0	34.6	41.3	22.7	1.5
(ハ) 子どもをしかることなく、いつも、なだめたり、ほめたりしている	100.0	4.2	59.1	35.0	1.7
(ニ) 子どもの望むことは、無理をしてもかなえている	100.0	6.7	58.1	33.9	1.3
(ホ) 生活一般については、まず、親が模範を示している	100.0	29.2	62.3	6.7	1.7
(ヘ) 起床及び就寝時刻などについては、子どもの計画や自主性を尊重している	100.0	24.7	44.4	29.5	1.4
(ト) 小遣いをやる、好きな物を買ってやるなど交換条件で言いきかせている	100.0	5.9	36.0	56.6	1.5
(テ) その時の気分で、しかったり、しからなかったりしている	100.0	9.0	46.4	43.2	1.5
(ド) 性の問題については、隠さずよく話し合いをしている	100.0	14.1	42.2	42.1	1.5
(ナ) 無断で机の中や日記を見ないなど、子どものプライバシーを尊重している	100.0	33.4	41.7	23.2	1.7
(ネ) 子どもの言葉づかい、礼儀は厳しくしつけている	100.0	54.5	40.4	3.8	1.3
(ヌ) 子どもに他人への思いやりの気持ちを持つようにさせている	100.0	82.5	15.3	1.0	1.3
(ル) 子どもの将来について計画をたて子どもに無理をさせても目標に到達させようと叱咤激励している	100.0	4.9	37.8	55.7	1.6
(リ) 子どもに対するしつけや教育のしかたが、家庭内で一致していない	100.0	7.5	42.9	47.9	1.7
(ロ) 子どもとの会話の機会を多くしている	100.0	70.6	27.0	1.1	1.3
(リ) 他人の子をしかることがある	100.0	19.6	50.7	28.2	1.5

### 10 子育てについての不安や悩み

子育てについての不安や悩みの状況をみると、6割以上の世帯で、何らかの不安や悩みを抱えている。内容をみると、「子どもの勉強や進学に関すること」が37.8%と最も多く、「子どものしつけに関すること」34.9%、「子どもの性格や癖に関すること」30.8%となっている。

学年別にみると、学年が高くなるにつれて不安や悩みを持つ割合は減少する傾向にあるが、「子どもの勉強や進学に関すること」は学年が高くなるにつれて増加しており、中学生では54.8%となっている。(表13)

表13 子育てについての不安や悩みの種類の構成割合 (%)

	平成8年	平成13年						
	総数	総数	男	女	未就学	小1～小3	小4～小6	中学生
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
子どものしつけに関すること	32.7	34.9	35.8	34.2	47.3	39.2	30.6	26.7
子どもの健康に関すること	24.5	27.6	28.6	26.7	36.1	29.0	28.2	20.0
子どもの勉強や進学に関すること	37.5	37.8	40.3	35.5	19.2	31.0	39.5	54.8
子どもの性格や癖に関すること	27.4	30.8	32.3	29.6	42.5	34.0	30.6	20.6
子どもの暴力や非行に関すること	7.9	8.8	10.1	7.5	7.9	9.9	9.0	8.6
子どものいじめに関すること	15.5	13.1	13.3	12.9	12.0	14.5	14.6	11.6
子どもの友人に関すること	16.7	18.4	16.9	20.0	16.4	20.5	20.3	16.8
子どもの性に関すること	7.3	7.2	7.3	7.2	6.6	5.8	7.6	8.2
子どもが保育園や幼稚園、学校に行くのを嫌がること	7.3	8.3	7.7	9.0	9.0	9.9	7.2	7.9
子どもの育て方について、自信が持てないこと	11.7	14.3	14.8	14.0	18.7	15.3	12.9	11.8
子どもの事に関して、家族が協力してくれないこと	7.1	7.4	7.0	7.9	10.7	6.3	7.0	6.2
子どもの事に関して、相談できる人がいないこと	4.6	5.4	5.2	5.7	5.1	6.0	5.5	5.2
家の近所の環境がよくないこと	6.7	7.0	7.3	6.7	8.7	8.8	6.6	4.9
その他	1.6	3.0	2.7	3.2	4.1	2.2	2.0	3.6
特に不安や悩みはない	36.9	33.5	30.8	35.9	29.2	34.8	37.8	32.0

複数回答

次に、不安や悩みを持っていると回答したものに、不安や悩みの種類ごとにその相談相手について尋ねた。

不安や悩みの種類として多く見られた「子どもの勉強や進学に関すること」「子どものしつけに関すること」「子どもの性格や癖に関すること」では、「家族の者に相談する」「子どもと話し合う」「信頼できる身近な人に相談する」が高くなっている。また、「子どもの健康に関すること」では「専門家や公的機関に相談する」が40.6%と高くなっている。(表14)

表14 子育てについての不安や悩みの種類別の相談相手の構成割合

(%)

	総数	専門家や公的機関 に相談する (電話も含む)	保育園や幼稚園 学校の先生など 相談する	信頼できる 身近な人に 相談する	家族の者に 相談する	子どもと 話し合う	自分で考え て解決する	その他	特に何も しない
子どものしつけに関すること	100.0	3.9	23.6	55.0	75.3	33.6	18.8	2.3	2.1
子どもの健康に関すること	100.0	40.6	16.1	39.8	64.6	15.7	13.7	3.9	2.9
子どもの勉強や進学に関すること	100.0	6.6	34.6	38.1	69.5	53.2	10.3	3.2	2.9
子どもの性格や癖に関すること	100.0	6.1	25.6	42.4	71.9	40.6	13.1	2.6	3.7
子どもの暴力や非行に関すること	100.0	11.0	28.6	33.8	56.5	33.1	10.4	1.3	20.8
子どものいじめに関すること	100.0	7.0	39.7	36.2	56.8	41.0	9.2	2.2	10.5
子どもの友人に関すること	100.0	1.6	25.8	44.1	52.8	53.7	10.6	1.6	8.1
子どもの性に関すること	100.0	5.6	5.6	28.6	54.0	35.7	10.3	2.4	22.2
子どもが保育園や幼稚園、学校に行くのを嫌がること	100.0	11.0	45.9	33.6	51.4	35.6	13.0	2.1	17.8
子どもの育て方について、自信が持てないこと	100.0	8.4	19.5	57.0	61.0	8.0	20.7	4.4	8.4
子どもの事に関して、家族が協力してくれないこと	100.0	8.5	8.5	46.2	30.0	6.9	29.2	8.5	20.0
子どもの事に関して、相談できる人がいないこと	100.0	11.6	11.6	17.9	26.3	3.2	16.8	8.4	36.8
家の近所の環境がよくないこと	100.0	9.8	13.1	32.8	37.7	9.8	10.7	5.7	35.2
その他	100.0	9.6	19.2	21.2	36.5	13.5	17.3	7.7	30.8

複数回答

### 11 児童とよく一緒にすること

児童とよく一緒にすることをみると、「デパートやスーパーなどへ買い物に行く」が80.0%と最も多く、「外へ出て、食事をする」61.3%、「テレビを見て、話し合ったりする」55.1%となっている。

男女別にみると、男子では「散歩やボール遊びなどをする」が40.7%（女子33.9%）と女子に比べて高くなっており、女子では「デパートやスーパーなどへ買い物に行く」86.0%（男子74.2%）、「ケーキ作りや料理をする」37.2%（男子20.2%）、「音楽を聞いたり、演奏や合唱・カラオケをする」24.9%（男子18.6%）と男子に比べて高くなっている。

学年別では、「勉強をみてやる」が小1～小3で61.9%、小4～小6で50.9%と他に比べて高くなっている。（表15）

表15 児童とよく一緒にすることの構成割合

(%)

	平成8年	平成13年						
	総数	総数	男	女	未就学	小1～小3	小4～小6	中学生
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
外へ出て、食事をする	58.1	61.3	60.7	62.1	59.3	59.2	64.4	61.3
一緒にスポーツクラブに入るなど 計画的にスポーツを一緒にする	5.1	7.5	9.5	5.5	3.6	6.0	11.8	7.9
散歩やボール遊びなどをする	35.1	37.4	40.7	33.9	62.7	47.7	34.1	14.6
旅行やハイキング、魚釣りなどに出かける	37.9	32.3	33.1	31.8	30.7	39.2	34.7	26.9
映画や観劇、音楽会へ行く	16.7	27.9	26.1	29.8	16.9	32.3	36.5	25.6
デパートやスーパーなどへ買い物に行く	78.6	80.0	74.2	86.0	88.5	84.7	81.7	69.0
室内でゲームやごっこ遊びをする	27.7	31.0	33.5	28.4	54.0	43.3	24.7	11.0
音楽を聞いたり、演奏や合唱・カラオケをする	20.5	21.7	18.6	24.9	26.9	21.9	19.4	19.6
ケーキ作りや料理をする	26.3	28.6	20.2	37.2	24.3	32.6	32.3	25.6
絵を描いたり、物をつくったり、 編み物などをする	14.2	19.7	16.6	22.9	38.4	22.7	16.4	6.5
お話を聞かせたり、本を読んで、 その感想を話し合ったりする	22.8	27.5	26.7	28.2	58.8	40.0	17.5	4.5
勉強をみてやる	36.3	37.8	36.9	38.8	19.4	61.9	50.9	23.6
テレビを見て、話し合ったりする	47.9	55.1	55.1	55.2	41.9	56.4	61.1	58.5
家族会議を開いて、話し合う	4.3	6.1	6.4	5.9	3.3	5.8	6.6	8.0
家業の手伝いをさせ、一緒に仕事をする	7.2	31.6	31.3	32.0	25.1	28.5	41.0	30.1
その他	2.4	3.2	2.7	3.7	2.8	3.3	3.1	3.6
特に一緒にすることはない	4.1	2.3	3.3	1.3	0.5	1.1	1.1	5.4

複数回答

## Ⅱ 児童からみた生活環境(児童用調査票より)

これ以後の項目は、対象となった世帯の中から小学校5年生～中学校3年生までの全児童に、直接記入をお願いしたものである。対象となった児童の性別、学年は「表16」及び「表17」のとおりである。

表16 性別にみた構成割合 (%)

	総数	男	女
平成8年	100.0	51.0	48.4
平成13年	(100.0) 1,157	(49.8) 576	(50.2) 581

表17 学年別にみた構成割合 (%)

	総数	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年	不詳
平成8年	100.0	18.5	20.6	19.7	20.5	20.3	0.4
平成13年	(100.0) 1,157	(17.3) 200	(19.8) 229	(19.7) 228	(21.6) 250	(21.5) 249	(0.1) 1

### 1 帰宅時間

帰宅時間を見ると、「6時前」が49.8%と最も多く、「4時前」22.3%、「7時前」14.5%となっている。

学年別にみても、「6時前」が小学5年生以外で最も多くなっている。(表18)

表18 帰宅時間の構成割合 (%)

	総数	男	女	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
午後2時前	0.2	0.3	-	-	0.4	-	-	-
午後4時前	22.3	21.2	23.4	43.5	40.6	5.3	6.4	20.1
午後6時前	49.8	48.8	50.8	41.0	46.7	58.8	50.8	50.6
午後7時前	14.5	16.0	13.1	5.0	1.7	25.9	29.6	8.4
午後8時前	1.2	1.2	1.2	1.5	0.9	0.4	2.0	1.2
午後9時前	0.8	0.7	0.9	-	-	0.9	1.6	1.2
午後10時前	0.4	0.2	0.7	-	0.4	-	0.8	0.8
午後10時以降	0.3	-	0.5	-	-	-	-	1.2
きまっていない	10.0	10.9	9.1	8.5	9.2	8.8	8.0	15.3
不詳	0.5	0.7	0.3	0.5	-	-	0.8	1.2

## 2 よく遊ぶ友達

(1) 学校が終わってからよく遊ぶ友達の状況を見ると、「同じクラスの子」が62.6%と最も多く、「違うクラスの子」41.2%、「クラブや部活で一緒の子」31.6%となっている。

学年別にみると、各学年とも「同じクラスの子」の割合が多くなっているが、小学生では「家の近所の子」が小学5年34.0%、小学6年28.8%と多くっており、中学生では「クラブや部活で一緒の子」が中学1年46.1%、中学2年48.0%、中学3年30.9%と多くなっている。(表19)

表19 よく遊ぶ友達の種類の構成割合

(%)

	平成8年	平成13年							
	総数	総数	男	女	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
同じクラスの子	63.5	62.6	63.2	62.0	76.5	78.2	56.6	46.8	58.6
違うクラスの子	41.8	41.2	41.8	40.6	40.0	41.5	39.9	36.4	48.2
違う学年の子	13.3	11.6	13.7	9.5	28.0	16.6	5.3	6.4	4.8
家の近所の子	23.1	18.5	20.1	16.9	34.0	28.8	14.5	12.4	6.4
塾やけいこ事で一緒の子	9.6	8.0	7.1	8.8	6.5	9.6	9.6	4.8	9.2
クラブや部活で一緒の子	39.3	31.6	30.2	33.0	13.5	16.2	46.1	48.0	30.9
前の学校や幼稚園で一緒だった子	9.5	7.3	8.5	6.2	3.0	3.1	16.2	8.4	5.6
その他	5.5	4.7	4.0	5.3	3.5	3.1	6.1	5.6	4.4
特に決まっていない	16.0	16.6	16.3	16.9	10.0	8.3	18.4	22.4	22.1

複数回答

(2) 一緒に遊ぶ友達の数を見ると、「2～3人」が32.8%と最も多くなっている。

性別にみても、男子「2～3人」が29.3%、女子「2～3人」が36.3%と最も多くなっている。(表20)

表20 よく遊ぶ友達の人数の構成割合

(%)

	平成8年	平成13年							
	総数	総数	男	女	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1人	3.6	4.1	2.3	6.0	3.5	4.4	2.2	3.6	100.0
2～3人	34.3	32.8	29.3	36.3	37.0	34.9	33.3	29.2	-
4～5人	27.5	26.8	29.0	24.6	31.0	30.6	23.7	28.0	-
6人以上	16.6	18.0	21.7	14.3	19.5	18.3	18.9	16.4	-
わからない	17.4	17.2	16.5	17.9	7.5	10.5	21.5	22.4	-
不詳	0.6	1.0	1.2	0.9	1.5	1.3	0.4	0.4	-

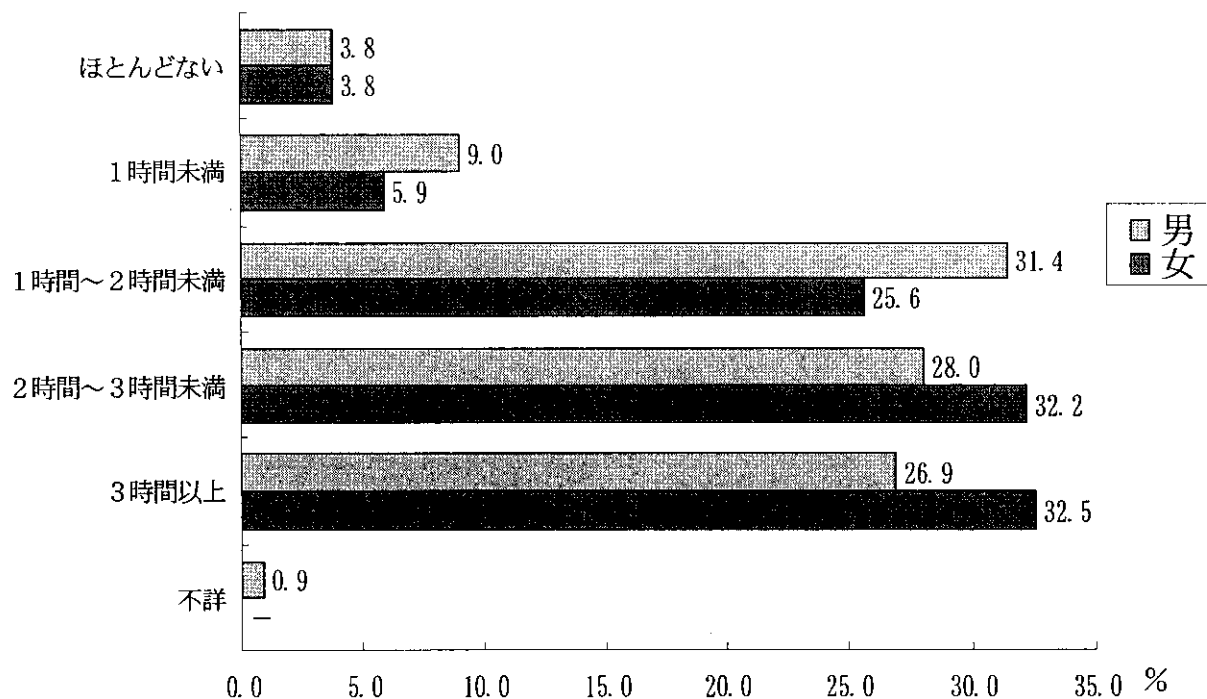
### 3 テレビやビデオを見たり、テレビゲームで遊ぶ時間

学校が終わってからテレビやビデオを見たり、テレビゲームで遊ぶ時間をみると、「2時間～3時間未満」が30.1%と最も多く、「3時間以上」29.7%、「1時間～2時間未満」28.5%となっている。「ほとんどない」と「1時間未満」の合計が11.2%となっており、8割以上の児童が1時間以上テレビやビデオを見たり、テレビゲームで遊んだりしている。（表21、図3）

表21 テレビやビデオを見たり、テレビゲームで遊ぶ時間の構成割合 (%)

	平成8年	平成13年							
	総数	総数	男	女	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ほとんどない	4.9	3.8	3.8	3.8	5.0	5.2	2.6	2.4	4.0
1時間未満	7.6	7.4	9.0	5.9	7.5	8.7	7.9	5.6	7.6
1時間～2時間未満	27.8	28.5	31.4	25.6	35.0	27.5	28.5	23.6	29.3
2時間～3時間未満	31.0	30.1	28.0	32.2	29.5	31.9	25.4	32.8	30.5
3時間以上	28.5	29.7	26.9	32.5	22.5	26.2	35.5	35.2	27.7
不詳	0.3	0.4	0.9	-	0.5	0.4	-	0.4	0.8

図3 テレビやビデオを見たり、テレビゲームで遊ぶ時間





#### 4 学習塾に通う理由

学習塾に通う状況を見ると、42.9%が学習塾に行っており、学年が高くなるにつれて行っている割合は高く、中学3年生では51.4%が学習塾に行っている。

学習塾に行っている理由をみると、「行かないと勉強ができなくなるから」33.5%、「希望する学校へ行きたいから」27.2%、「親から行くように言われたから」18.3%となっている。

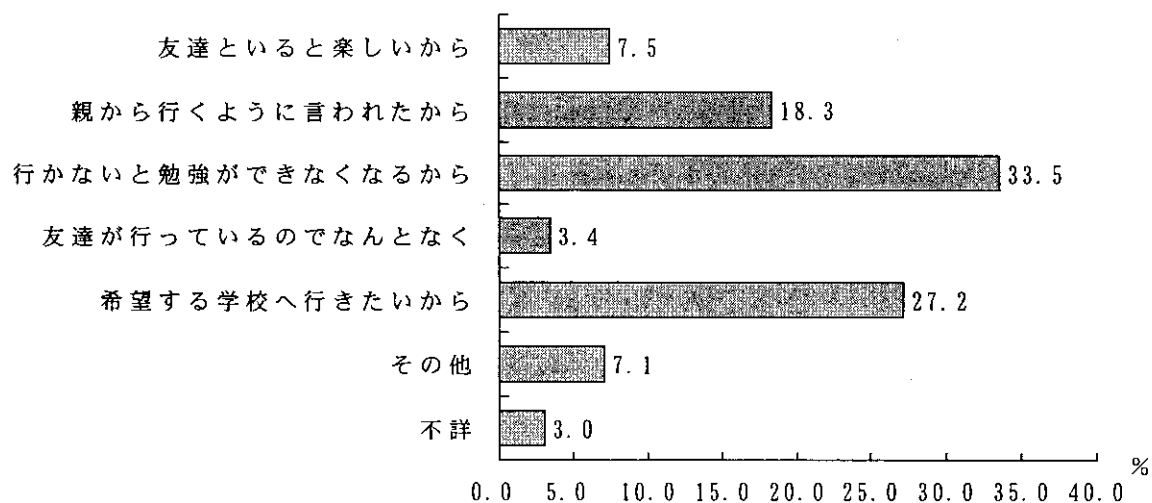
学年別にみると、小学生から中学2年では「行かないと勉強ができなくなるから」が最も高く、中学3年では「希望する学校へ行きたいから」が最も高くなっている。(表22、図4)

表22 学習塾に通う理由の構成割合

(%)

	平成8年	平成13年							
	総数	総数	男	女	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
行っていない	54.3	56.7	59.2	54.2	69.5	55.9	58.3	54.4	47.8
行っている	(100.0) 46.6	(100.0) 42.9	(100.0) 40.1	(100.0) 45.6	(100.0) 29.5	(100.0) 44.1	(100.0) 41.7	(100.0) 45.2	(100.0) 51.4
友達といると楽しいから	( 9.9) 4.6	( 7.5) 3.2	( 7.8) 3.1	( 7.2) 3.3	( 8.5) 2.5	( 8.9) 3.9	( 9.5) 3.9	( 8.8) 4.0	( 3.1) 1.6
親から行くように言われたから	(18.9) 8.8	(18.3) 7.9	(22.9) 9.2	(14.3) 6.5	(25.9) 7.5	(29.7) 13.1	(18.9) 7.9	(15.0) 6.8	( 8.6) 4.4
行かないと勉強ができなくなるから	(26.9) 12.5	(33.5) 14.3	(29.4) 11.8	(37.0) 16.9	(30.5) 9.0	(32.7) 14.4	(43.2) 18.0	(38.1) 17.2	(24.2) 12.4
友達が行っているの でなんとなく	( 6.1) 2.8	( 3.4) 1.5	( 4.8) 1.9	( 2.3) 1.0	( 5.1) 1.5	( 5.0) 2.2	( 2.1) 0.9	( 4.4) 2.0	( 1.6) 0.8
希望する学校へ行きたいから	(27.1) 12.6	(27.2) 11.7	(28.6) 11.5	(26.0) 11.9	(18.6) 5.5	(14.9) 6.6	(17.9) 7.5	(24.8) 11.2	(50.0) 25.7
その他	(10.1) 4.7	( 7.1) 3.0	( 4.8) 1.9	( 9.1) 4.1	(10.2) 3.0	( 6.9) 3.1	( 7.4) 3.1	( 4.4) 2.0	( 7.8) 4.0
不詳	( 1.0)	( 3.0) 1.3	( 1.7) 0.7	( 4.2) 0.2	( 1.7) 0.5	( 2.0) 0.9	( 1.1) 0.4	( 4.4) 2.0	( 4.7) 2.4
不詳	-	0.4	0.7	1.2	1.0	-	-	0.4	0.8

図4 学習塾に通う理由（行っている児童のみ）



## 5 生活行動の経験

児童の日常生活の中で、思いやり行動や社会的自立に関わる行動についての経験（（ア）～（カ））と、落ち込んだり、いじめをしてしまったり、いじめられたり、学校へ行かなかったりした経験（（キ）～（コ））の有無を「よくある」「たまにある」「まったくない」の3つから選んでもらった。（参考表第4表）

- （ア）「犬、ネコ、小鳥などの世話をしたこと」については、全体では「よくある」が40.3%、「まったくない」が19.9%であり、女子の方が「よくある」と答えたものが多く、学年差はあまりない。
- （イ）「困っている人を助けてあげたこと」については、「よくある」「まったくない」ともに10%台であり、「たまにある」と答えたものが7割である。
- （ウ）「自分で決めたこと（スポーツや勉強など）をやりとげ、よくやったなと今でもうれしく思うこと」は「よくある」が32.5%、「たまにある」が54.5%、「まったくない」が11.5%である。男女差はほとんどなく、学年差はばらつきがあるが特に傾向は見られない。
- （エ）「両親と離れて一人で、親戚や友達などの家に泊まったこと」については、「よくある」が18.6%、「たまにある」が51.2%、「まったくない」が28.9%であり、女子の方がやや経験が多いようである。学年差はあまりない。
- （オ）「赤ちゃんをあやしたり、小さな子の面倒をみたりしたこと」については、「よくある」が29.0%、「たまにある」が45.9%、「まったくない」が23.9%である。女子の方が「よくある」と答えたものがやや多く、年齢が高くなるにつれて割合は低下していく。
- （カ）「病人やお年寄りの世話をしてあげたこと」については、思いやりや自立に関連する項目の中ではもっとも経験が少ない。全体で「よくある」と答えたものは8.4%にすぎない。「まったくない」は5割近くになっている。学年差はほとんどなく、男女差はあまりない。
- （キ）「失敗したり、しかられたりして、何もかもいやになってしまったこと」については、「よくある」が21.3%、「たまにある」が50.9%、「まったくない」が26.3%である。学年差はあまりないが、全般に女子の方がよくあると答えており、この年代での自己認識の男女差が大きいことが分かる。
- （ク）「大勢で、一人の子をいじめてしまったこと」については、「よくある」が1.1%、「たまにある」が18.3%、「まったくない」が79.1%である。男女差、学年差はそれほどない。
- （ケ）「いじめを受けていたこと」については、「よくある」4.2%、「たまにある」が19.5%、「まったくない」が74.7%である。男女差、学年差はあまりない。
- （コ）「何かの理由で、学校へ行きたくなくて、学校を休んだこと」については、「よくある」が4.2%、「たまにある」が16.2%、「まったくない」が78.3%であり、中学2年生及び中学3年生では約25%が「よくある」又は「たまにある」と答えている。

## 6 現在持っている不安や悩み

現在児童が持っている不安や悩みの状況をみると、5割以上の児童で、何らかの不安や悩みを抱えており、特に女子では6割以上となっている。

内容をみると、「自分の勉強や進路について」が72.9%と最も多く、「自分の顔や体形について」42.6%、「自分の友達について」39.5%となっている。

学年別にみると、学年が高くなるにつれて不安や悩みを持つ割合が多くなっているが、特に「自分の勉強や進路について」は、中学3年で約9割の児童が、不安や悩みを持っている。(表23)

表23 現在持っている不安や悩みの構成割合

(%)

	平成8年	平成13年							
	総数	総数	男	女	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
不安や悩みがない	48.6	45.5	56.8	34.3	52.0	55.0	48.2	42.0	32.1
不安や悩みがある	(100.0) 51.4	(100.0) 54.5	(100.0) 43.2	(100.0) 65.7	(100.0) 48.0	(100.0) 45.0	(100.0) 51.8	(100.0) 58.0	(100.0) 67.9
自分の健康について	(36.4) 18.7	(31.9) 17.4	(34.1) 14.8	(30.3) 20.0	(34.4) 16.5	(38.8) 17.5	(30.5) 15.8	(33.8) 19.6	(25.4) 17.3
自分の顔や体形について	(48.3) 24.8	(42.6) 23.2	(35.7) 15.5	(47.1) 31.0	(43.8) 21.0	(43.7) 19.7	(44.1) 22.8	(46.2) 26.8	(37.3) 25.3
自分の勉強や進路について	(71.6) 36.8	(72.9) 39.8	(73.1) 31.6	(72.8) 47.8	(43.8) 21.0	(62.1) 27.9	(78.0) 40.4	(76.6) 44.4	(89.3) 60.6
自分の性格や癖について	(44.5) 22.9	(38.2) 20.8	(31.7) 13.7	(42.4) 27.9	(40.0) 19.0	(34.0) 15.3	(42.4) 21.9	(39.3) 22.8	(36.1) 24.5
いじめについて	(27.8) 14.3	(24.1) 13.1	(22.5) 9.7	(25.1) 16.5	(32.3) 15.5	(25.2) 11.4	(31.4) 16.2	(21.4) 12.4	(16.0) 10.8
自分の友達について	(39.8) 20.5	(39.5) 21.5	(24.1) 10.4	(49.5) 32.5	(38.5) 18.5	(35.0) 15.7	(50.0) 25.9	(44.1) 25.6	(31.4) 21.3
自分の性の問題について	(21.5) 11.1	(16.6) 9.1	(13.7) 5.9	(18.6) 12.2	(16.7) 8.0	(16.5) 7.4	(22.0) 11.4	(16.6) 9.6	(13.0) 8.8
ボーイ(ガール)フレンドについて	(28.8) 14.8	(24.9) 13.6	(17.7) 7.6	(29.6) 19.4	(20.8) 10.0	(19.4) 8.7	(36.4) 18.9	(26.2) 15.2	(21.3) 14.5
自分の家庭の問題について	(26.7) 13.7	(24.2) 13.2	(20.1) 8.7	(27.0) 17.7	(18.8) 9.0	(20.4) 9.2	(33.1) 17.1	(23.4) 13.6	(24.3) 16.5
学校生活について	(36.3) 18.6	(37.6) 20.5	(29.3) 12.7	(42.9) 28.2	(32.3) 15.5	(33.0) 14.8	(47.5) 24.6	(40.7) 23.6	(33.7) 22.9
その他	(5.6) 2.9	(4.8) 2.6	(5.6) 2.4	(4.2) 2.8	(7.3) 3.5	(2.9) 1.3	(2.5) 1.3	(7.6) 4.4	(3.6) 2.4

## 7 近所であればいい遊び場

近所であればいいなと思う遊び場の状況を見ると、「映画や劇が見られる小さな劇場」が34.7%と最も多く、「歌ったり、音楽を聴いたり、楽器の演奏をしたり、ダンスなどが楽しめるスタジオ」34.2%、「野球やサッカーなどができる広場」34.1%となっている。

性別にみると、男子では「野球やサッカーなどができる広場」が58.5%（女子9.8%）と最も多く、女子では「歌ったり、音楽を聴いたり楽器の演奏をしたり、ダンスなどが楽しめるスタジオ」が46.8%（男子21.5%）と最も多くなっている。

学年別にみると、小学生では「子犬や猫などの小動物や、昆虫などとふれ合うことのできる遊び場」が、中学生では「歌ったり、音楽を聴いたり楽器の演奏をしたり、ダンスなどが楽しめるスタジオ」が多くなっている。（表24）

表24 近所であればいいなと思う遊び場の種類の構成割合 (%)

	平成8年	平成13年							
	総数	総数	男	女	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
木や小川があり、木登りや泥んこ遊びのできる公園	22.4	21.1	20.7	21.5	27.0	27.9	21.1	14.4	16.9
隠れんぼや冒険遊びのできる原っぱや空き地	23.8	23.2	26.9	19.6	33.0	31.9	21.9	19.2	12.9
子犬や猫などの小動物や、昆虫などとふれ合うことのできる遊び場	31.7	30.9	24.1	37.5	45.0	39.7	30.7	19.2	23.3
自由に話したり、ゲームなどができる集会室	31.2	32.2	36.6	27.7	26.0	34.1	34.2	33.2	32.5
歌ったり、音楽を聴いたり、楽器の演奏をしたり、ダンスなどが楽しめるスタジオ	30.5	34.2	21.5	46.8	18.0	26.2	32.0	45.6	45.4
絵を描いたり、工作ができるアトリエ	16.4	11.9	8.5	15.3	17.5	14.0	7.9	8.0	12.9
料理をしたり、お茶を飲んだりして交流できるスペース	16.1	14.7	5.7	23.6	17.0	13.5	15.4	14.4	13.7
映画や劇が見られる小さな劇場	31.0	34.7	32.3	37.0	28.5	27.1	31.1	41.2	43.0
野球やサッカーなどができる広場	35.7	34.1	58.5	9.8	35.0	36.7	33.8	32.4	32.5
プール	31.9	20.5	20.0	21.0	23.5	24.5	18.0	20.4	16.9
その他	10.6	10.7	10.6	10.8	5.5	4.4	15.4	17.2	10.0
不詳	0.8	4.2	4.2	4.3	5.0	2.6	5.7	3.2	4.8

複数回答（3つまで回答可）